

◆ 6月号の予定 ◆

特集 「わが国のコーポレートガバナンス」

6月号発行日（6月1日）、東京証券取引所「コーポレートガバナンス・コード」は10周年を迎える。これを記念して、本特集では、東証役員のほか、経営者、研究者、投資家、そして行政官が結集する。わが国コーポレート・ガバナンス（CG）の制度的発展とその成果を振り返りつつ、CGの現状と課題、さらには課題克服策を考察するために。

論考・論文

- ・コーポレートガバナンス・コード10周年：これまでの経緯、現状と課題
- ・ガバナンス改革に残された統計的検証課題－社外取締役、政策保有株式を中心に－
- ・部品不足で空回りする仕組み、求められる日本の工夫
- ・ガバナンス改革と残された課題（有報の総会前開示）
- ・金融行政当局から見た日本におけるコーポレート・ガバナンス改革の進展と今後の展望

統計ウォッチング

- ・2020年以降の物価上昇－エネルギー対策補助金による相殺効果の推計

統計寸評

- ・ビッグデータの統計利用に関する国際動向（国際機関を中心に）

連載

- ・滋賀大学におけるデータサイエンスの産官学連携（3）
－帝国データバンク×滋賀大学/DEMLセンターが牽引する産学連携の最前線－
- ・労働力調査の80年（3）－調査結果の推定と標本誤差の計測－

統計利活用コーナー

- ・統計データ分析コンペティション2024受賞論文 大学生・一般の部 統計活用奨励賞

英国王立統計学会機関誌Significanceから

- ・Kenneth Menglin Lee 著
“Advantage Federer: The expected value of tennis”抄訳と解説

書評

- ・渡辺努、清水千弘 編 『日本の物価・資産価格 価格ダイナミクスの解明』

◎「特集」のテーマ（2024年10月号～2025年9月号）

- 2024年10月号 — 賃金動向の行方
- 11月号 — 統計科学の発展を担う行動計量学・計量心理学
- 12月号 — 産業連関表の新たな意義
- 2025年1月号 — 令和7年国勢調査への期待－実施年の幕開け－
- 2月号 — 社会保障分野のEBPM
- 3月号 — これからの農林統計の展望
- 4月号 — 国際貿易(1)貿易構造の変化と課題
- 5月号 — 国際貿易(2)経済・食料安全保障の観点
- 6月号 — わが国のコーポレートガバナンス
- 7月号 — 令和7年国勢調査の意義と役割
- 8月号 — 行政情報のマイクロデータ研究
- 9月号 — 税務情報のマイクロデータ分析

(注)「特集」のテーマは、社会経済の動向により見直す場合もあります。

◎連載

- ・国際統計制度とは何か
…2021年1月号から隔月
2025年3月号まで連載
- ・高校における統計・データサイエンス教育の最前線
…2021年7月号～毎月12月号まで
2023年1月号～毎月7月号まで
2024年3月号～
2025年2月号まで連載
- ・2025 SNAの最前線
…2023年4月号から隔月
2024年2月号まで連載
- ・データサイエンスの産官学連携
…2025年4月号から毎月
- ・労働力調査の80年
…2025年4月号から毎月